

令和3年の梅雨入り・明けに関するお知らせ

鹿児島地方気象台では、毎年、春から夏にかけての実際の天候経過を総合的に検討し、九州南部、奄美地方の梅雨入りと梅雨明けの確定及び梅雨時期の特徴のまとめを行っています。

令和3年の梅雨についてとりまとめた結果は以下のとおりです。

地域	梅雨入りと階級(注1)			梅雨明けと階級(注1)		
	事後検討	当初発表	平年	事後検討	当初発表	平年
奄美地方	5月5日ごろ(-)	5月5日ごろ	5月12日ごろ	7月3日ごろ(+)	7月3日ごろ	6月29日ごろ
九州南部	5月11日ごろ(-)*	5月11日ごろ	5月30日ごろ	7月11日ごろ(-)	7月11日ごろ	7月15日ごろ

地域	梅雨時期(奄美地方は5月～6月、九州南部は6月～7月)の降水量	
	地域平均降水量の平年比と階級(注2)	代表地点の降水量、カッコ内は平年値
奄美地方	125% (+)	名瀬 972.0mm(705.5)
九州南部	85% (0)	鹿児島 723.0mm(935.1), 宮崎 702.5mm(855.6)

(注1) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「日ごろ」と表現した。記号の意味：(+)*：かなり遅い、(+):遅い、(0):平年並、(-):早い、(-)*：かなり早い、の階級区分を表す。

(注2) 記号の意味：(+)*：かなり多い、(+):多い、(0):平年並、(-):少ない、(-)*：かなり少ない、の階級区分を表す。

梅雨時期の概況

奄美地方

4月の天気は数日の周期で変わりましたが、5月上旬の中頃から前線が奄美付近に停滞し曇りや雨の日が多くなりました。このため、5月5日ごろに梅雨入りとなりました。

5月中旬から6月下旬にかけては前線が本州付近に北上し晴れた日もありましたが、沖縄付近に停滞することが多く、曇りや雨の日が多くなりました。7月上旬には前線が本州付近まで北上し、奄美地方は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。このため、7月3日ごろに梅雨明けとなりました。

九州南部

4月中旬から5月上旬にかけては、天気は数日の周期で変わりました。5月中旬は九州南部付近に前線が停滞したため、曇りや雨の日が多くなりました。このため、5月11日ごろに梅雨入りとなりました。

5月下旬後半から6月下旬にかけては前線が短い期間で九州南岸付近から沖縄付近を上下動したため、天気は数日の周期で変わりました。7月上旬は高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、前線は対馬海峡付近に停滞したため、曇りや雨の日が多く、10日は線状降水帯が発生し、大雨特別警報を発表しました。7月中旬には前線は次第に不明瞭となり、7月11日ごろに梅雨明けとなりました。

なお、梅雨時期の降水量は、奄美地方では「多い」、九州南部では「平年並」となりました。